

# 金光院谷津田【若葉区金親町】

金親町は印旛沼へ流れる鹿島川の水系と東京湾に流れる水系の分水嶺にあたる台地にあります。

この金親町の鹿島川水系中流部に、葦が茂る湧水の豊富な金光院谷津田が広がっています。

この谷津田の一部では、ボランティアにより、ハイケボタル、オオヨシキリや絶滅危惧種であるニホンアカガエルの生息環境の整備が行われ、次第にその姿が多く観察されるようになっていきます。また、ボランティアにより昔ながらの手法により古代米など米づくりも行われています。



谷津田の中央付近には、保全区域であることを示す看板が設置されています。そのすぐ傍には上流部や斜面林が蓄えた豊富な湧水を水源とした水路が流れています。水路沿の広い湿地には葦が茂り、オオヨシキリの姿が見えます。この生物の生息環境を維持するためにボランティアによる除草が定期的に行われています。



新緑の斜面林と葦原  
(上)  
秋には葦が刈り取られ、また斜面林のクヌギ、コナラ、モミジ等はあざやかにその装いを変えています。(右)



【コラム】  
谷津田の入口は、御成街道と県道千葉川上八街線の合流地点にあります。入口を入ると、徳川家康が鷹狩にきた時に宿泊したといわれる金光院があります。(金光院鐘楼、右) また、近隣には御茶屋御殿跡もあり、この付近は千葉の原風景とともに歴史を感じる地域です。



②谷津頭下部

湧水

ホタル

カエル池

⑫鳥池

⑪ピオトープ

⑥中央水路下流

カエル池

⑩葦原下流部

中央  
散策道

⑬稲作

④中央水路中流

⑧葦原中流部

カエル池

⑤中央水路支川

⑨葦原中奥部

水路沿散策路

③中央水路上流

⑦葦原上流

カエル池

①谷津頭上部

湧水

ホタル

カエル池

湧水流路



谷津頭や湿地には、葦が茂っています。(左)  
初冬には、その葦も枯れ、ニホンアカガエルの生息環境である多くの池が現れます。(右)



斜面林からの湧水が裾に集まり水路となって流れています。(上)  
谷津田の中央ではボランティアによる古代米の米づくりが行われており、秋には、収穫された稲が「おだ」に掛けられ、一層、谷津田の原風景を感じることができます。  
道路の近くにはニホンアカガエルのための池が作られています。

